

TRAIL

いわき市の経済・景気の動き

経済・景気動向調査報告「トレイル」

第87号 令和6年12月16日発行

いわき市産業振興部

【全国景気動向】国内景気、個人消費が支え！ 先行きも回復基調！

●「GDP」(R6 年第ⅢQ=四半期。1 次速報値*。11/15)の実質値は 2Q 連続のプラス成長。内訳は、GDP の過半以上を占める個人消費が 2 Q 連続のプラス、消費に次ぐ柱の設備投資は 2 Q 振りにマイナス、GDP 上、輸出に計上するインバウンドは 9 Q 振りのマイナス。なお、民間予測による次の Q は、個人消費がやや縮小するが、設備投資と輸出の回復で、回復基調は続くと思われる。

*2 次速報値 (12/9) は 0.3% (年率 1.2) に上方修正。

●「月例経済報告 (11 月)」(11/26) の基調判断は、4 か月連続、同じ表現とした。項目別には、「輸入」が 6 か月ぶりに上方修正、「消費者物価」が“穏やかに上昇”から“このところ上昇”に表現変更、のほかは、多くの科目が前回を踏襲した。先行きは、中国等の海外景気の動向、米国の今後の政策動向、中東情勢の影響に十分注意する必要がある、としている。

R6/7-9 月期 GDP (%)		
区分	前期	今期
GDP(実質)	0.5	0.2
(年率換算)	(2.2)	(0.9)
個人消費	0.7	0.9
設備投資	0.9	▲0.2
政府消費	0.1	0.5
公共投資	4.1	▲0.9
輸出	2.6	0.4
輸入	2.9	2.1

今期は速報値。前期は改定

月例経済報告 (11 月) の概要		
基調判断	一部に足踏みが残るが緩やかに回復	
個人消費	一部に足踏みが残るが持ち直し	
設備投資	底堅く推移	
住宅投資	概ね横ばい	
輸出	概ね横ばい	
輸入	この処待ち直し	
生産	このところ横ばい	
企業収益	総じて改善	
雇用情勢	改善の動き	
消費者物価	緩やかに上昇	
先行き判断	緩やかな回復	

(注) 太字は修正された箇所。

目次

【全国景気動向】国内景気、個人消費が支え！ 先行きも回復基調！

【いわき市景気動向】前期までの“足踏み状態”から転じ、“下落気味”に！

【経済・景気四方山記事】全国 4 件、いわき市発 1 件

I 経済・景気調査：R6 年第Ⅲ四半期(7~9 月)

1. 経済の動き (主要部門別・主要経済データ) . . . 3
2. 景気の動き (景気動向指数) 9

【参考】- 景気動向指数の内容 - 国・県の動き

II 景気ウォッチャー調査：R6 年 11 月時点 16

【いわき市景気動向】前期までの“足踏み状態”から転じ、“下落気味”に！

いわき市の景気動向は、全国景気をよそに、前期までの続いていた“足踏み”からやや悪化し、今期には“下落気味”に転じている。需要、企業及び雇用の各動向は概して精彩を欠いている。その傾向は「景気ウォッチャー調査」(R6/11)でも窺い知れる。“現状 DI”は総じて前期より下がっており、“先行き DI”も総じて前向きにとらえる向きもあるものの小幅で先行き不安が拭い去れない。

● 経済・景気調査

【需要動向】大型店舗販売が需要減で、新設住宅が前期の反動減とともにマイナス。自動車登録は前期比でプラスに転じた。公共事業と観光需要は前期に続いてプラスで、これらが景気の下支えとなっている。

いわき市の動向 (R6/7-9 月)		
区分	前期%	今期%
需要動向	個人大型店舗販売	2.1 ▲6.9
	個人自動車登録	▲12.8 2.9
	建築新設住宅	48.3 ▲28.6
	公共工事	19.7 23.2
企業動向	観光需要	6.8 9.7
	生産卸売市場取扱	▲8.0 ▲17.7
雇用動向	輸入通関実績	8.7 ▲1.6
	企業法人市民税	7.6 5.0
雇用動向	企業倒産件数	7件 10件
	新規求人倍率	1.72倍 1.76倍
雇用動向	有効求人倍率	1.10倍 1.17倍

注：前年同期比。雇用は9月時点。

【企業動向】「生産」の卸売市場取扱は前期に引き続きマイナス、輸入通関実績はマイナスに転じた。「企業」で企業倒産件数が増加している。

【雇用動向】新規求人倍率、有効求人倍率とも前期並みで推移しており、雇用環境はおおむね横ばい。

● 景気ウォッチャー調査 (R6 年 11 月)

全業種の“現状 DI”は、前回より 3.1 ポイント下がり判断の境目となる 50 点を切った。“先行き DI”は 3.1 ポイント微増ないしマイナスで、先行きに期待感が出ていない。

景気ウォッチャー調査抜粋 (R6/11)				
区分	現状判断 DI		先行き判断 DI	
	今回	対差	今回	対差
全業種	47.3	▲ 3.1	48.1	0.2
家計	46.6	▲ 7.1	49.0	▲ 0.5
小売	46.7	▲ 11.3	47.8	2.3
飲食	50.0	▲ 15.0	54.2	▲ 0.8
サービス	46.9	▲ 4.8	50.0	▲ 5.0
住宅	41.7	11.7	45.8	0.8
企業	50.0	12.5	45.0	7.5
雇用	50.0	8.3	43.8	▲ 14.5

“自由意見”では、商店街への集客の難しさ、物価高騰の影響などが目立った。詳細は原表参照。

(産業チャレンジ課)

【経済・景気四方山記事】

(原情報の要約・意識や筆者の補足・解釈・所感を含む)

● 地域通貨*、デジタルで再起 - 発行数、4年で7倍！ かつていわき市でも試行** -

特定の地域で流通する地域通貨が再び盛り上がっている。2000年代には紙による発行が相次いだとその後の盛り上がりは欠いていた。しかし、2020年代以降デジタル地域通貨は徐々に増え、19年末に約30か所だったものが、23年には約230か所になった。地域通貨の3類型*のうちエコマネー型の多様性が活かされた形。具体的には①ごみでポイント貯め買い物に使う(とまチョットポイント: 苫小牧市)、②特定のQRコードで決済すると3%ポイント還元。市が費用を負担(めぶくPay)、③釣った魚をポイントに変えて飲食に利用(サンセットコイン: 西伊豆町)など、地域の特性に合わせたパターンが考えられている。いわき市でもかつて社会実験を実施したこともあり、具体的な導入が期待される。(9/28 日経新聞)

* 地域通貨には①LETS型、②タイムダラー型、③エコマネー型の3種がある。上記は③で、環境、福祉、教育、文化等非貨幣的価値を交換することにより、コミュニティ再生を図る。(本誌第29号H22/6/15参照)。

** いわき市でも、2001年度、市が“エコマネー研究班実験事業”を、市・商工会議所・本学地域経済研究所(当時)が“エコマネー研究会を実施するなど、一時的導入機運が高まった。

● 「アナログ・ライドシェア」、15地域意欲

国交省は、「日本版ライドシェア」*の新しい形として電話配車と現金運賃払いを利用する「アナログ・ライドシェア」を認めた** (全申請数約100地域のうち15地域がこのタイプだった)。

ライドシェアは一般ドライバーを、アプリケーションを使って配車依頼し、クレジットカードで運賃支払いをするが、アプリやクレカに不慣れな高齢者が多い地域では普及しにくいと、国交省は電話予約や運賃現金払いでもいい“アナログ型”を認めた。この反面、公共交通のデジタル化に逆行し、交通空白を抱える地方では多少“デジタル化”が遅れるが、“アナログ型”を推進するのは、地域の実情を考えると間違っていない。(10/16 日経新聞)

* 欧米と違い日本ではタクシー会社以外は参入できないため“日本版”と呼ばれる。本年4月から導入。

** 「配車アプリを使用しない自家用車活用事業の導入について」(R6/9/10 付事務連絡・物流・自動車局旅客課長名)。

● 好調の訪日消費に死角あり！

インバウンドの観光消費と訪日客数が過去最高にせまる勢い*であるが、この背景に隠れがちな課題がある。①まず観光消費。R6年1-9月期の訪日

客1人当たり消費は22.3千円と前四半期の23.9千円から約7%落ち込んだ。この低迷の理由を分析しておく必要がある。②ついで物販頼みの危うさ。消費内容をみると買い物代の割合が増え各種体験やエンターテインメント等が減っている。物販頼りだと為替相場等に左右されてリピーターになりにくい。日本ならではの体験や娯楽をもっと売り込むべき。③もう一つは、中国一国への依存傾向**。特定の国への過度な依存は、相手先の景気動向等に影響を受けやすいリスクを含む。

以上の課題を克服し、観光消費を一時的なブームに終わらせず、地域経済の持続的な成長に生かしたい。(10/21 日経新聞・社説)

* R6年1-9月までのインバウンド消費は約5.9兆円。年間実績で過去最高のR5年を超えた。訪日客数も同時期でR5年の総数を上回る。通年でコロナ禍前の最高記録を抜くと予想される。

** 中国が訪日消費に占める割合は、R5年14.3%で国・地域別に第2位。R6年7-9月は26.9%で首位となり、コロナ前のR1年36.8%に近付いている。

● 政府、地方創生に5本柱！ - “地方創生2.0”が起動！ -

石破内閣の所信表明演説(10/4)では、“地方こそ成長の主役”の考えのもと、“地方創生2.0”を起動することと、R7年度予算での地方創生交付金の倍増が示された。

その一環として、11/8に立ち上げた「新しい地方経済・生活環境創生本部」(本部長: 首相、構成: 全閣僚)では、今後10年間を見据えた「基本構想」の考え方として、①安心して働ける生活環境、②東京一極に対応した人や企業の地方分散、③付加価値創出型の新しい地方経済、④デジタル・新技術の徹底した活用、⑤“産学官勤労言”(企業、大学等、行政、労働者、労働組合、地方新聞社・テレビ局等)のステークホルダーの連携と国民的な機運の向上などの5本が柱に据えられた。同時に地方の課題を政策立案に活かすため、“産学官勤労言”からなる有識者会議を立ち上げる。(11/09 日経新聞)

● 【いわき市発】「CIFAL ジャパン国際研修センター」がいわき市に開設。本格開業はR7年5月！

12/2、いわき市に日本で初めてとなる「CIFAL ジャパン国際研修センター」が設置された。設置の目的は、起業家等の地域リーダーや地域の公務員・指導者等に学習機会を提供して知識の共有を図り、意思決定プロセスを改善して持続可能な開発を促進することにある。CIFALの開設に際し、いわき市と学校法人昌平黉とが協力協定を締結した。

東日本国際大学名誉教授 大川信行

I 経済・景気調査：令和6年第Ⅲ四半期（7～9月）

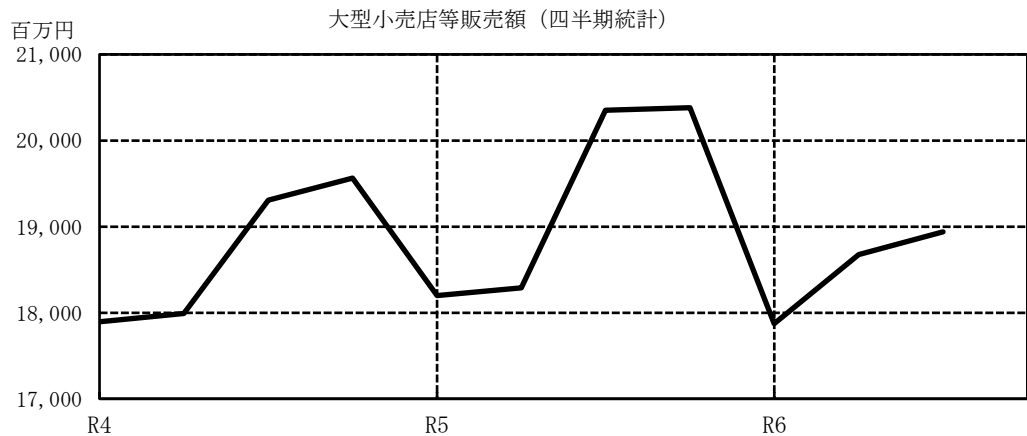
1 いわき市の経済の動き

（1）主要部門の動向（令和6年第Ⅲ四半期（7～9月）の状況）

① 需要動向

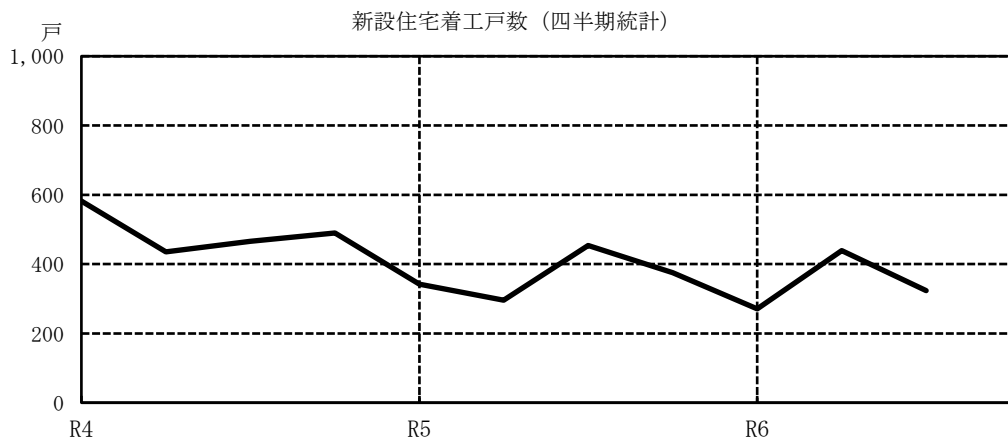
【個人消費】○第Ⅲ四半期（7～9月）の大型小売店等販売額は約189億円（前年同期比6.9%の減少）となり、2四半期振りに前年の水準を下回った。

○自動車新規登録台数は4,232台（前年同期比2.9%の増加）となり、3四半期振りに前年の水準を上回った。



【建設需要】○新設住宅着工戸数は324戸（前年同期比28.6%の減少）となり、2四半期振りに前年の水準を下回った。

○公共工事等受注額は約90億円（前年同期比23.2%の増加）となり、4四半期連続で前年の水準を上回った。

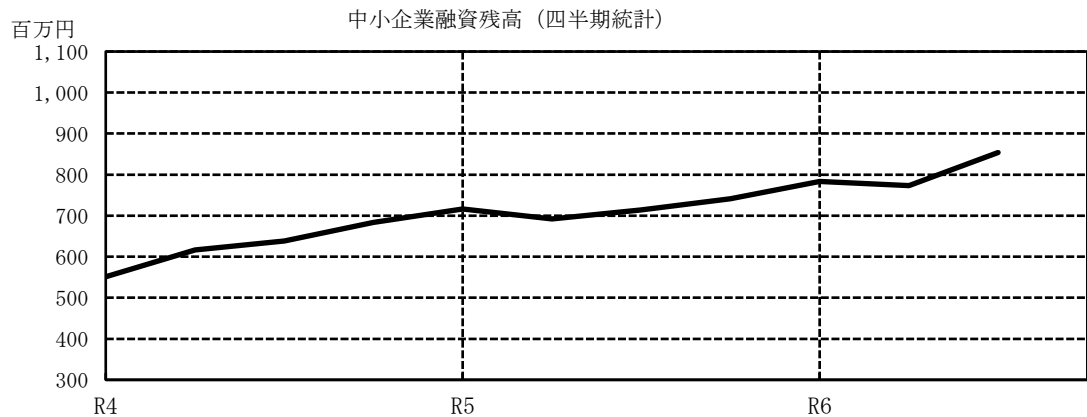


【観光需要】○観光施設利用者指数は、120.8（前年同期比9.7%の上昇）となり、令和4年第Ⅰ四半期以降、11四半期連続で前年の水準を上回った。

② 企業動向

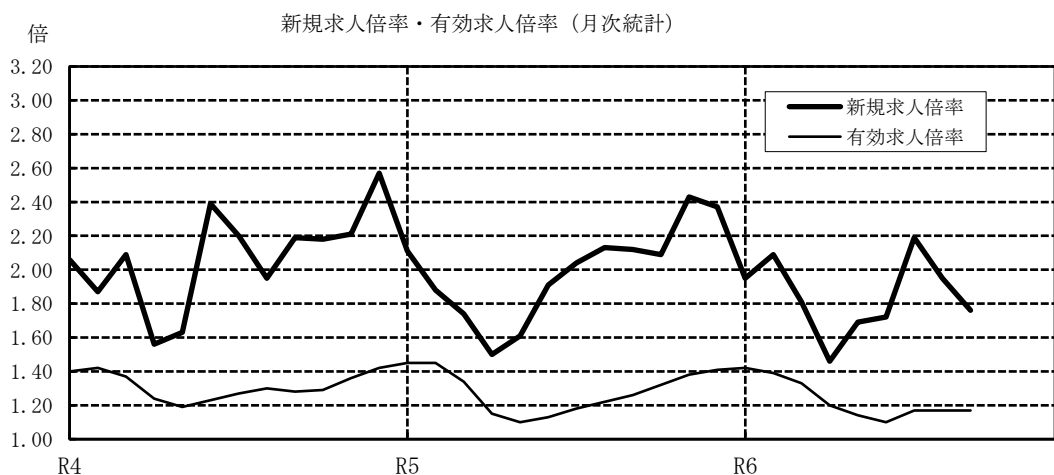
- 第Ⅲ四半期（7～9月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約33億円（前年同期比17.7%の減少）となり、三四半期連続で前年の水準を下回った。

- 【企業活動】
- いわき市中小企業融資残高は約8.5億円（前年同期比19.6%の増加）となり、令和4年第2四半期以降、10四半期連続で前年の水準を上回った。
 - 負債1千万円以上の企業倒産件数は10件（前年同期比400.0%の増加（＝悪化））となり、三四半期連続で前年の水準を上回った。



③ 雇用情勢

- 【雇 用】
- 9月の新規求人倍率は1.76倍（前年同月より0.36ポイントの低下）となり、2ヵ月連続で前年の水準を下回った。
 - 9月の有効求人倍率は1.17倍（前年同月より0.09ポイントの低下）となり、4ヵ月連続で前年の水準を下回った。
 - 第Ⅲ四半期（7～9月）の雇用保険受給者実人員は3,600人（前年同期比5.2%の減少(=改善)）となり、5四半期連続で前年の水準を下回った(改善した)。



(2) 主要経済データ

区 分	需要動向													
	個人消費				建設需要						観光需要			
	大型小 売店等 販売額	前年 同期比	自動車 新規登 録台数	前年 同期比	新設住 宅着工 戸数	前年 同期比	建築確 認申請 受付件 数	前年 同期比	公共工 事等受 注額	前年 同期比	観光施設利 用者指数 (H24・四 半期平均 =100)	前年 同期比	入湯税 調定人 員	前年 同期比
年 月	(百万円)	(%)	(台)	(%)	(戸)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)		(%)	(人)	(%)
【年次統計】														
令和元年	74,924	-2.8	21,098	3.8	1,646	-31.9	1,084	-16.1	45,162	90.7	367	-6.9	640,323	-5.6
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	195	-47.0	359,932	-43.8
令和3年	75,051	-2.5	16,318	-9.9	1,911	-4.5	1,077	8.2	87,871	85.0	177	-9.2	301,384	-16.3
令和4年	74,755	-0.4	15,143	-7.2	1,973	3.2	1,176	9.2	34,321	-60.9	271	53.1	407,735	35.3
令和5年	77,220	3.3	17,639	16.5	1,467	-25.6	1,310	11.4	25,367	-26.1	352	30.1	548,789	34.6
【四半期統計】														
令和4年 IV	19,562	1.1	3,777	10.0	490	-5.6	329	29.0	4,788	-68.1	69.8	13.3	110,006	2.4
令和5年 I	18,198	1.7	5,098	10.9	342	-41.2	241	0.8	3,413	-67.6	61.7	42.0	142,714	61.3
II	18,288	1.6	3,935	25.8	296	-32.0	357	21.4	6,235	9.7	70.7	12.9	122,181	41.2
III	20,353	5.4	4,114	12.9	454	-2.6	385	22.6	7,307	-45.1	110.1	15.7	139,990	14.1
令和6年 IV	20,381	4.2	4,492	18.9	375	-23.5	327	-0.6	8,412	75.7	110.1	57.8	143,904	30.8
I	17,873	-1.8	4,012	-21.3	271	-20.8	314	30.3	8,071	136.5	68.7	11.5	131,586	-7.8
II	18,675	2.1	3,433	-12.8	439	48.3	354	-0.8	7,461	19.7	75.5	6.8	126,066	3.2
III	18,939	-6.9	4,232	2.9	324	-28.6	359	-6.8	9,004	23.2	120.8	9.7	147,307	5.2
【月次統計】														
令和4年10月	6,273	2.7	1,209	19.8	147	-21.0	116	31.8	2,580	-76.1	25.1	40.5	44,320	34.3
11月	6,171	5.4	1,394	3.9	120	0.8	116	33.3	1,171	13.8	21.8	0.7	43,306	24.3
12月	7,118	-3.6	1,174	8.3	223	4.2	97	21.3	1,037	-67.6	23.0	3.5	22,380	-43.5
令和5年1月	6,134	2.6	1,442	10.8	89	-72.4	82	13.9	216	-87.5	19.0	16.4	58,444	47.6
2月	5,639	0.8	1,548	12.3	98	-21.6	91	33.8	684	-74.2	17.2	83.9	35,888	9.7
3月	6,425	1.6	2,108	10.1	155	15.7	68	-31.3	2,513	-59.2	25.5	43.5	48,382	199.6
4月	6,058	2.2	1,292	23.4	87	-61.2	102	-8.1	1,234	-27.2	20.1	20.3	45,605	66.0
5月	6,235	1.9	1,234	27.5	66	-2.9	113	79.4	491	209.5	29.2	10.4	37,374	29.2
6月	5,995	0.8	1,409	26.6	143	0.0	142	18.3	4,510	17.7	21.3	10.0	39,202	30.2
7月	6,809	4.5	1,315	8.0	123	-34.6	146	80.2	2,775	-39.9	29.7	14.3	36,886	17.2
8月	7,148	6.1	1,176	18.3	119	19.0	133	13.7	1,479	-64.4	54.8	25.0	40,640	9.3
9月	6,396	5.7	1,623	13.4	212	19.1	106	-8.6	3,053	-32.9	25.6	1.2	62,464	15.5
10月	6,372	1.6	1,645	36.1	110	-25.2	110	-5.2	4,749	84.0	29.7	18.5	46,919	5.9
11月	6,112	-1.0	1,585	13.7	150	25.0	120	3.4	2,046	74.7	54.8	151.7	49,675	14.7
12月	7,897	10.9	1,262	7.5	115	-48.4	97	0.0	1,617	56.0	25.6	11.6	47,310	111.4
令和6年1月	5,941	-3.1	1,203	-16.6	92	3.4	92	12.2	1,594	638.0	21.3	12.2	43,048	-26.3
2月	5,741	1.8	1,184	-23.5	84	-14.3	98	7.7	383	-44.0	20.5	19.6	40,149	11.9
3月	6,190	-3.7	1,625	-22.9	95	-38.7	124	82.4	6,094	142.5	26.9	5.5	48,389	0.0
4月	6,086	0.5	1,124	-13.0	174	100.0	124	21.6	1,418	14.9	22.1	9.9	52,099	14.2
5月	6,318	1.3	1,076	-12.8	126	90.9	129	14.2	1,265	157.6	28.9	-0.9	38,612	3.3
6月	6,271	4.6	1,233	-12.5	139	-2.8	101	-28.9	4,778	5.9	24.4	14.4	35,355	-9.8
7月	6,186	-9.2	1,479	12.5	81	-34.1	126	-13.7	2,918	5.1	31.9	7.5	41,179	11.6
8月	6,848	-4.2	1,152	-2.0	119	0.0	123	-7.5	1,905	28.8	57.7	5.3	45,341	11.6
9月	5,905	-7.7	1,601	-1.4	124	-41.5	110	3.8	4,182	37.0	31.2	21.8	60,787	-2.7
出典：	いわき市産業 チャレンジ課		いわき自動車検査登 録事務所、全国軽自 動車協会連合会いわ き支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協 同組合、(社)福島 県建設業協会いわ き支部		いわき市産業 チャレンジ課(市内 主要観光施設 の利用者数を 指数化)		いわき市市民 税課	

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分 年 月	企業動向													
	生産活動				企業活動									
	いわき市 中央卸売 市場取扱 高	前年 同期比	小名浜港 輸入通関 実績	前年 同期比	いわき 市中小 企業融 資残高	前年 同期比	いわき 市中小 企業融 資利率	前年 同月比	信用保 証承諾 額	前年 同期比	信用保 証協会 代位弁 済	前年 同期比	法人市 民税調 定額	前年 同期比
年 月	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
【年次統計】														
令和元年	12,898	-7.4	345,294	-8.7	1,009	-12.7	2.05	0.0	21,136	13.4	964	60.1	4,101	-19.8
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9	4,199	2.4
令和3年	13,930	2.8	355,137	10.4	593	-24.1	2.06	-0.1	37,047	-45.5	220	-60.7	3,312	-21.1
令和4年	14,883	6.8	624,189	75.8	622	5.0	1.77	-0.3	21,406	-42.2	738	234.8	3,577	8.0
令和5年	16,040	7.8	530,374	-15.0	716	15.0	1.62	-0.2	26,677	24.6	932	26.3	3,359	-6.1
【四半期統計】														
令和4年 IV	4,720	11.8	193,735	91.2	684	23.1	1.78	-0.43	5,488	5.0	180	289.1	1,193	42.8
令和5年 I	3,446	9.4	152,954	48.6	716	29.9	1.99	-0.03	8,506	30.1	223	-15.8	502	9.3
II	3,740	13.3	133,582	-16.9	692	12.3	1.21	-0.12	4,815	38.7	117	132.1	985	-17.8
III	4,011	8.1	140,384	-15.8	714	11.8	1.99	-0.04	6,906	16.8	255	5.2	857	17.9
令和6年 IV	4,843	2.6	103,454	-46.6	741	8.4	1.28	-0.50	6,450	17.5	337	86.7	1,016	-14.8
I	3,440	-0.2	104,991	-31.4	783	9.4	1.97	-0.02	6,270	-26.3	334	49.5	452	-9.9
II	3,442	-8.0	145,149	8.7	774	11.8	1.98	0.77	6,120	27.1	254	117.3	1,060	7.6
III	3,302	-17.7	138,088	-1.6	854	19.6	1.90	-0.09	6,803	-1.5	612	140.1	900	5.0
【月次統計】														
令和4年10月	1,256	10.1	67,536	57.5	683	26.4	1.70	-	1,420	10.1	141	-	113	43.8
11月	1,280	6.5	56,208	112.6	673	19.0	2.20	0.00	1,496	-2.7	7	33.3	993	41.3
12月	2,184	16.4	69,991	118.9	694	24.1	1.43	-0.78	2,572	7.3	33	-20.8	87	59.5
令和5年1月	1,089	6.3	50,374	33.0	700	26.8	2.00	0.05	1,529	26.1	2	-95.6	91	-17.7
2月	1,072	9.9	45,458	67.0	733	35.2	2.20	-	2,294	42.1	90	-56.5	125	-5.4
3月	1,284	11.8	57,122	51.0	715	27.8	1.76	-0.33	4,682	26.2	132	895.8	285	32.3
4月	1,217	6.7	38,877	-28.9	701	21.0	1.03	-0.18	1,116	20.4	1	-	151	32.6
5月	1,260	15.3	47,170	-7.5	694	10.2	1.55	-0.13	1,655	32.9	116	205.3	304	7.5
6月	1,264	18.3	47,535	-13.8	681	6.5	1.05	-0.05	2,044	57.4	0	-100.0	530	-33.9
7月	1,375	7.8	42,781	-7.5	679	7.4	2.10	-0.02	2,799	64.4	215	110.1	400	16.8
8月	1,334	4.4	42,704	-29.1	703	11.8	1.95	-0.25	2,343	66.1	33	678.3	370	25.6
9月	1,302	12.4	54,899	-8.9	760	15.9	1.92	0.15	1,764	-37.0	7	-94.8	86	-3.2
10月	1,303	3.7	19,947	-70.5	750	9.8	1.50	-0.20	1,862	31.1	158	12.5	138	22.6
11月	1,334	4.2	33,244	-40.9	731	8.5	1.28	-0.93	1,565	4.6	148	2,037.8	792	-20.3
12月	2,206	1.0	50,263	-28.2	743	7.0	1.05	-0.38	3,024	17.6	30	-7.6	86	-1.4
令和6年1月	1,038	-4.7	35,018	-30.5	787	12.4	1.70	-0.30	1,776	16.2	217	10,712.8	103	13.1
2月	1,170	9.2	28,343	-37.7	776	5.8	2.00	-0.20	2,033	-11.4	91	1.5	124	-0.7
3月	1,232	-4.1	41,630	-27.1	787	10.0	2.20	0.44	2,460	-47.4	25	-80.7	225	-21.2
4月	1,210	-0.6	54,637	40.5	755	7.7	1.89	0.86	1,412	26.6	56	7,180.1	157	3.9
5月	1,157	-8.2	39,120	-17.1	771	11.2	2.20	0.65	1,840	11.2	60	-48.2	310	2.0
6月	1,075	-14.9	51,392	8.1	794	16.7	1.86	0.81	2,867	40.3	138	-	594	11.9
7月	1,252	-9.0	46,180	7.9	850	25.2	2.05	-0.05	2,653	-5.2	448	108.3	440	10.1
8月	868	-34.9	48,594	13.8	857	22.0	2.20	0.25	1,651	-29.5	133	305.2	350	-5.6
9月	1,182	-9.2	43,314	-21.1	855	12.5	1.44	-0.48	2,499	41.7	31	341.7	110	27.3
出典：	いわき市中央 卸売市場（水 産）		横浜税関		いわき市産業チャレンジ課（年次 統計は12カ月の平均値、四半 期統計は3カ月の平均値） ”-” は実績なし。実績ない月 は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会				いわき市市民 税課（法人税 割）	

（注）－は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分	企業動向									
	倒産				中小企業DI調査					
	企業倒産件数		企業倒産負債総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合(全業種)
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比						
年 月	(件)	(%)	(百万円)	(%)						
【年次統計】										
令和元年	14	-6.7	1,669	-82.6	-	-	-	-	-	-
令和2年	14	0.0	1,186	-28.9	-	-	-	-	-	-
令和3年	10	-28.6	1,375	15.9	-	-	-	-	-	-
令和4年	13	30.0	1,714	24.7	-	-	-	-	-	-
令和5年	16	23.1	4,649	171.2	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】										
令和4年 IV	6	50.0	522	11.8	-	-	-	-	-	-
令和5年 I	3	-25.0	95	-83.6	-	-	-	-	-	-
II	5	400.0	2,871	501.9	-	-	-	-	-	-
III	2	0.0	165	20.4	-	-	-	-	-	-
IV	6	0.0	1,518	190.8	-	-	-	-	-	-
令和6年 I	8	166.7	1,480	1,457.9	-	-	-	-	-	-
II	7	40.0	1,982	-31.0	-	-	-	-	-	-
III	10	400.0	1,081	555.2	-	-	-	-	-	-
【月次統計】										
令和4年10月	3	50.0	220	89.7	-	-	-	-	-	-
11月	2	0.0	292	-16.8	-	-	-	-	-	-
12月	1	-	10	-	-22.6	-42.9	-7.7	-42.9	12.5	-19.7
令和5年1月	0	-100.0	0	-	-	-	-	-	-	-
2月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
3月	3	50.0	95	-55.4	-30.0	-40.0	-22.2	-25.0	0.0	-25.3
4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
6月	5	400.0	2,871	501.9	-14.2	-10.0	-18.2	-70.0	-11.1	-22.1
7月	1	0.0	15	-88.2	-	-	-	-	-	-
8月	1	0.0	150	1,400.0	-	-	-	-	-	-
9月	0	-	0	-	-23.4	-37.5	-27.3	-50.0	-12.5	-28.3
10月	2	-33.3	270	22.7	-	-	-	-	-	-
11月	3	50.0	516	76.7	-	-	-	-	-	-
12月	1	0.0	732	7,220.0	-24.1	16.6	0.0	-44.4	0.0	-16.6
令和6年1月	3	-	320	-	-	-	-	-	-	-
2月	4	-	650	-	-	-	-	-	-	-
3月	1	-66.7	510	436.8	-6.9	0.0	-41.7	-20.0	-12.5	-14.7
4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	5	-	1,390	-	-	-	-	-	-	-
6月	2	-60.0	592	-79.4	-18.7	-44.5	0.0	-11.1	-14.3	-17.7
7月	3	200.0	129	760.0	-	-	-	-	-	-
8月	1	0.0	60	-60.0	-	-	-	-	-	-
9月	6	-	892	-	-6.5	0.0	-15.4	0.0	-11.1	-7.2
出典：	東京商工リサーチ（負債総額1,000万円以上）				福島県産業振興センター（前年同月比で「良化」-「悪化」社数構成比（各月末時点）） 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査					

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分	雇用						その他					
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)			
	前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比		家計動向	企業動向	雇用関連	総合
年 月	(倍)	(%p)	(倍)	(%p)	(人)	(%)	(千台)	(%)				
【年次統計】												
令和元年	2.14	-0.07	1.57	-0.05	13,479	3.1	9,319	-8.4	-	-	-	-
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	-	-	-	-
令和3年	1.99	0.08	1.29	-0.04	14,808	-6.4	7,427	-4.3	-	-	-	-
令和4年	2.02	0.03	1.31	0.03	14,068	-5.0	7,855	5.8	-	-	-	-
令和5年	1.97	-0.05	1.27	-0.04	13,914	-1.1	8,331	6.1	-	-	-	-
【四半期統計】												
令和4年 IV	-	-	-	-	3,451	-1.8	2,066	1.6	-	-	-	-
令和5年 I	-	-	-	-	3,220	-0.9	1,936	10.8	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,513	0.8	2,018	3.2	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,796	-2.3	2,218	6.2	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,385	-1.9	2,159	4.5	-	-	-	-
令和6年 I	-	-	-	-	3,075	-4.5	2,038	5.3	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,280	-6.6	2,100	4.1	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,600	-5.2	2,299	3.7	-	-	-	-
【月次統計】												
令和4年10月	2.18	-0.03	1.29	0.02	1,198	-1.4	705	7.4	-	-	-	-
11月	2.21	0.39	1.36	0.08	1,140	0.3	679	-0.3	46.0	33.9	54.2	44.1
12月	2.57	-0.26	1.42	0.03	1,113	-4.1	681	-2.0	-	-	-	-
令和5年1月	2.11	0.05	1.45	0.05	1,093	0.4	625	4.9	-	-	-	-
2月	1.88	0.01	1.45	0.03	1,052	2.4	594	18.3	55.0	39.6	55.0	51.8
3月	1.74	-0.35	1.34	-0.03	1,075	-5.0	717	10.4	-	-	-	-
4月	1.50	-0.06	1.15	-0.09	1,083	-2.3	663	2.5	-	-	-	-
5月	1.61	-0.02	1.10	-0.09	1,202	10.9	702	5.4	61.3	45.3	50.0	56.9
6月	1.91	-0.48	1.13	-0.10	1,228	-4.9	653	1.7	-	-	-	-
7月	2.04	-0.16	1.18	-0.09	1,258	0.2	733	6.4	-	-	-	-
8月	2.13	0.18	1.22	-0.08	1,326	-3.1	800	10.1	56.1	36.7	53.6	51.8
9月	2.12	-0.07	1.26	-0.02	1,212	-3.8	684	1.9	-	-	-	-
10月	2.09	-0.09	1.32	0.03	1,225	2.3	721	2.3	-	-	-	-
11月	2.43	0.22	1.38	0.02	1,111	-2.5	719	5.8	54.2	38.3	50.0	50.4
12月	2.37	-0.20	1.41	-0.01	1,049	-5.8	719	5.6	-	-	-	-
令和6年1月	1.95	-0.16	1.42	-0.03	1,057	-3.3	660	5.6	-	-	-	-
2月	2.09	0.21	1.39	-0.06	1,044	-0.8	649	9.2	56.5	40.4	43.8	52.4
3月	1.81	0.07	1.33	-0.01	974	-9.4	729	1.8	-	-	-	-
4月	1.46	-0.04	1.20	0.05	1,045	-3.5	696	4.9	-	-	-	-
5月	1.69	0.08	1.14	0.04	1,100	-8.5	720	2.5	54.7	42.3	40.0	51.1
6月	1.72	-0.19	1.10	-0.03	1,135	-7.6	685	4.9	-	-	-	-
7月	2.19	0.15	1.17	-0.01	1,234	-1.9	764	4.1	-	-	-	-
8月	1.95	-0.18	1.17	-0.05	1,181	-10.9	811	1.3	49.5	37.5	58.3	47.9
9月	1.76	-0.36	1.17	-0.09	1,185	-2.2	724	5.9	-	-	-	-
出典：	ハローワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業チャレンジ課(H30.1調査開始)景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。			

2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和6年第Ⅲ四半期（7～9月）の状況）

(1) C I（コンポジット・インデックス）

① 概要

9月のCIは、先行指数が120.0、一致指数が142.9、遅行指数が130.7となった。

② 指数別の動向（指数は令和2の水準を100とする）

【先行指数】 9月は120.0ポイントで、2ヵ月連続で低下した。
寄与度がプラスの指標は、鉱工業在庫率指数（逆）（3ヵ月振り）、自動車新規登録台数（2ヵ月振り）等の3指標、マイナスの指標は、新規求人倍率（2ヵ月連続）、建築確認申請受付件数（3ヵ月振り）等の5指標であった。

【一致指数】 9月は142.9ポイントで、3ヵ月連続で低下した。
寄与度がプラスの指標は、公共工事受注額（7ヵ月連続）、高速道路出入交通量（2ヵ月振り）等の5指標、マイナスの指標は、有効求人倍率（2ヵ月連続）、大型小売店等販売額（2ヵ月振り）等の4指標であった。

【遅行指数】 9月は130.7ポイントで、2ヵ月連続で低下した。
寄与度がプラスの指標は、いわき市中央卸売市場取扱高（2ヵ月振り）、法人市民税調定額（2ヵ月振り）等の3指標、マイナスの指標は、雇用保険受給者実人員（逆）（2ヵ月振り）、いわき市中小企業融資利率（2ヵ月振り）等の4指標であった。

※C Iの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

③ 指数の推移及び寄与度の内訳（C Iの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（令和2＝100）

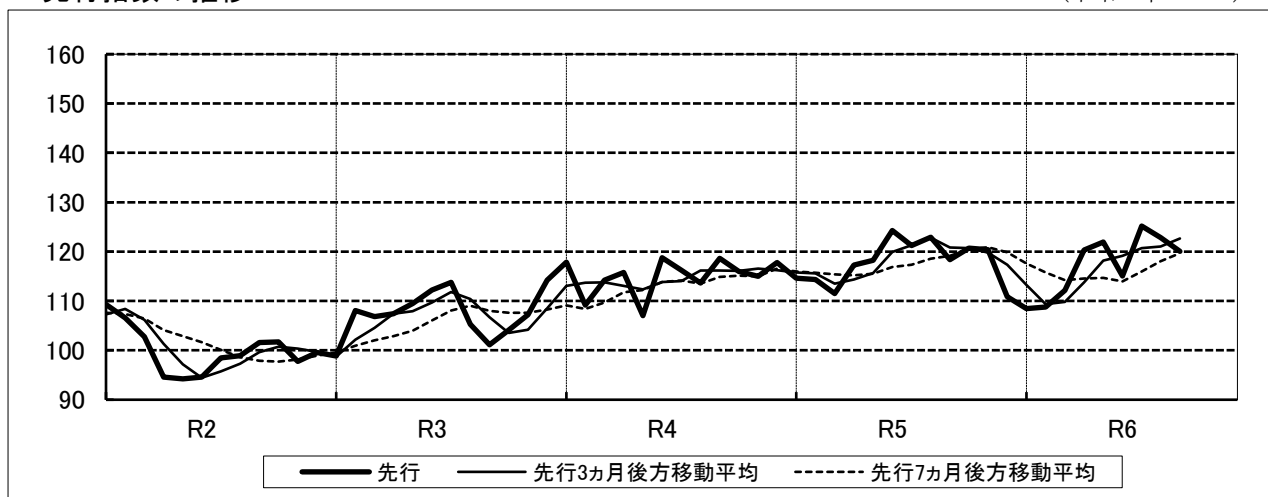
区 分		令和5年			令和6年								
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
先 行 指 数（C・I）		120.7	120.4	110.9	108.4	108.8	112.2	120.3	122.0	115.1	125.2	122.8	120.0
前月差(ポイント)（寄与度合計）		2.33	-0.34	-9.51	-2.44	0.4	3.39	8.16	1.62	-6.87	10.09	-2.34	-2.80
先行 系列 寄 与 度 内 訳	1. 自動車新規登録台数	4.64	-4.02	-0.29	-4.34	-2.60	3.00	4.85	1.21	1.89	4.00	-0.63	0.21
	2. 新設住宅着工戸数	-2.99	1.64	-1.64	0.72	-1.27	0.98	1.65	-0.09	-1.22	-2.20	2.26	-0.50
	3. 建築確認申請受付件数	0.30	1.61	-1.15	0.11	-0.17	1.27	0.24	1.04	-4.94	3.28	0.16	-1.11
	4. 鉱工業在庫率指数（逆）	1.30	-1.34	-0.57	-0.44	1.70	-1.18	1.13	-1.07	0.65	-0.38	-0.84	2.09
	5. 中小企業DI（全業種）	0.06	0.06	-2.78	0.12	0.12	0.41	0.08	0.09	-0.48	0.08	0.08	-1.29
	6. 新規求人倍率	-0.98	1.99	-3.46	1.14	1.73	-1.48	-0.13	0.56	-3.14	4.93	-2.67	-2.58
	7. いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	-0.05	-0.53	-0.02	-0.02	0.58	-0.04	-0.04	-0.49	-0.06	-0.06	-1.17	-0.04
	8. 一致指数トレンド成分	0.05	0.24	0.40	0.28	0.26	0.42	0.38	0.37	0.43	0.46	0.47	0.43
一 致 指 数（C・I）		129.1	129.3	134.8	135.3	137.5	140.4	146.2	140.8	145.5	145.3	145.3	142.9
前月差(ポイント)（寄与度合計）		2.25	0.16	5.54	0.46	2.23	2.86	5.79	-5.37	4.65	-0.16	-0.01	-2.35
一 致 系 列 寄 与 度 内 訳	1. 公共工事受注額	1.93	0.75	0.49	1.14	-0.21	2.55	0.17	0.60	0.22	0.14	0.34	0.82
	2. 観光施設利用者指数	2.33	2.36	-2.33	0.33	0.18	-0.58	0.36	-0.58	1.05	-0.07	0.39	0.11
	3. 大型小売店等販売額	-1.21	-0.75	2.34	-2.45	1.55	-1.77	1.35	0.27	1.06	-2.66	1.66	-1.16
	4. 鉱工業生産指数	1.74	-2.31	2.37	0.19	2.47	-0.80	1.67	-2.62	0.56	-1.73	0.80	0.00
	5. 鉱工業出荷指数	0.34	-1.74	2.20	0.07	2.18	-0.02	1.03	-2.61	0.25	0.43	-0.90	0.54
	6. 小名浜港輸入通関実績	-2.34	2.31	1.44	-1.12	-0.65	1.45	0.82	-0.85	1.05	-0.18	0.29	-0.23
	7. いわき市中小企業融資残高	-2.06	-0.48	-0.54	1.72	-2.19	1.38	-0.85	1.15	1.83	2.54	-1.24	-2.68
	8. 有効求人倍率	0.98	-0.27	-0.75	0.17	-1.35	1.54	0.35	-0.31	-1.82	1.00	-0.53	-0.27
	9. 高速道路出入交通量	0.54	0.29	0.32	0.40	0.26	-0.89	0.88	-0.43	0.45	0.37	-0.83	0.54
遅 行 指 数（C・I）		131.6	128.1	134.6	132.0	138.2	141.6	148.6	136.1	134.3	135.0	134.3	130.7
前月差(ポイント)（寄与度合計）		-4.46	-3.51	6.54	-2.60	6.16	3.44	6.92	-12.45	-1.84	0.77	-0.69	-3.63
遅 行 系 列 寄 与 度 内 訳	1. 入湯税調定人員	-0.45	0.48	-1.39	-1.52	1.17	0.66	2.12	-2.66	-1.45	1.86	0.54	-0.82
	2. いわき市中央卸売市場取扱高	-2.23	-0.36	0.31	-3.70	3.99	-3.33	-0.66	-1.20	-2.03	0.73	-4.19	3.94
	3. 鉱工業在庫指数	-1.30	-1.27	3.88	0.90	1.04	2.29	-0.28	-4.58	-0.54	1.33	-0.50	-2.03
	4. いわき市中小企業融資利率	-1.54	-2.23	1.19	0.84	1.14	1.97	4.34	-3.55	2.65	-4.17	1.15	-2.93
	5. 法人市民税調定額	2.35	-1.89	1.23	-0.26	-0.87	0.06	1.08	-0.59	-1.05	1.34	-0.22	0.78
	6. 雇用保険受給者実人員（逆）	-1.35	1.50	0.85	0.79	-0.64	1.26	-0.15	-0.31	0.10	-0.82	2.02	-3.03
	7. 一致指数トレンド成分	0.06	0.26	0.46	0.34	0.33	0.54	0.47	0.44	0.49	0.51	0.51	0.46

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。
3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

④ CIの推移

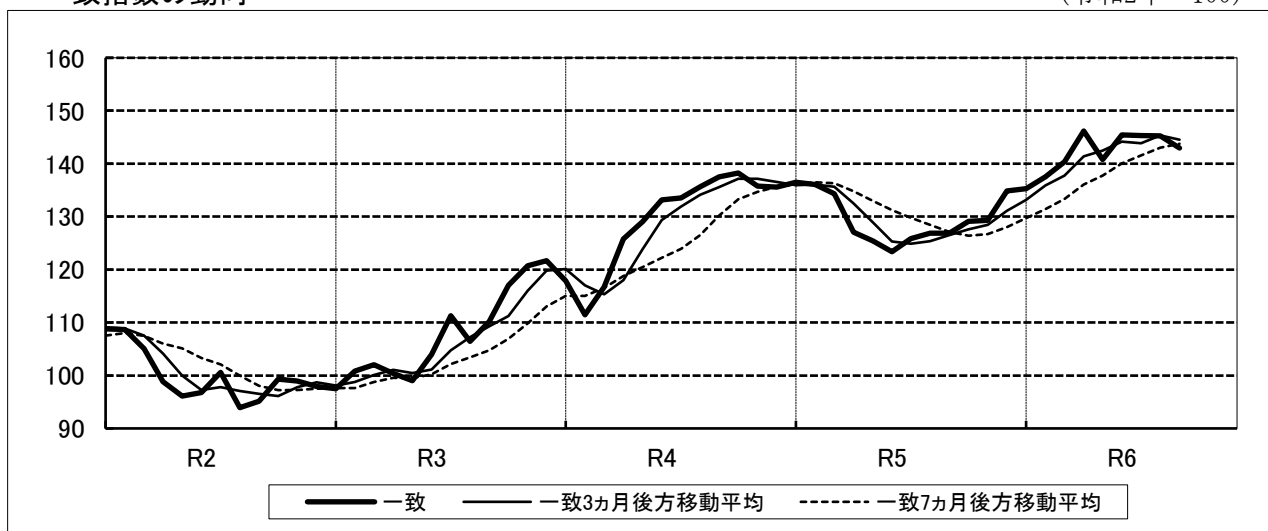
・先行指数の推移

(令和2年=100)



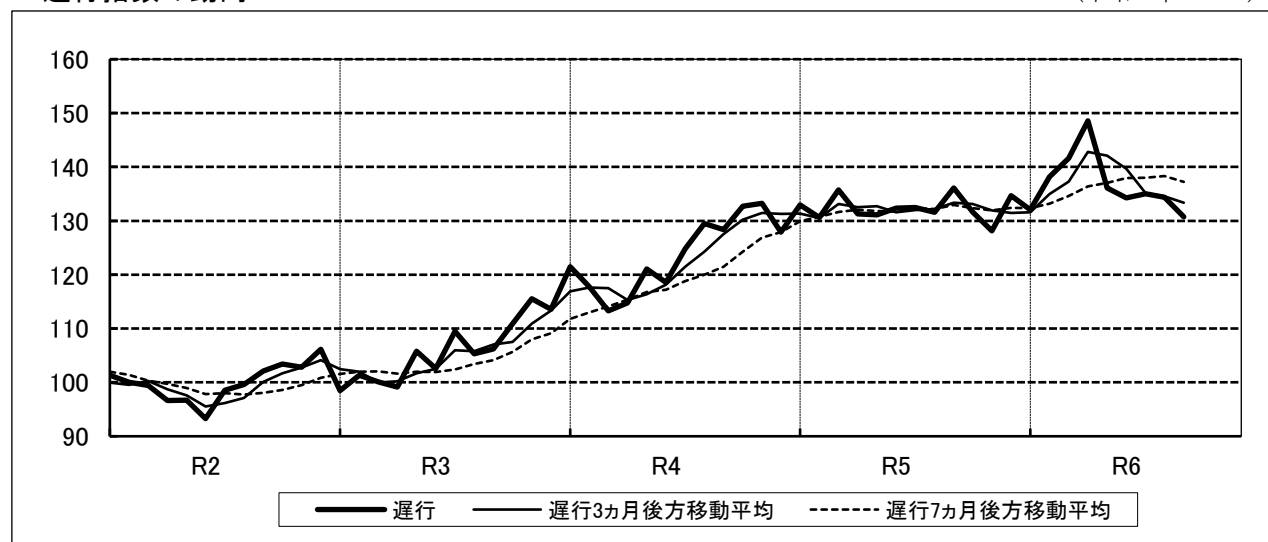
・一致指数の動向

(令和2年=100)



・遅行指数の動向

(令和2年=100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
27	138.4	127.3	133.4	126.1	123.1	126.8	126.1	124.7	124.6	124.4	124.7	117.1
28	120.5	113.2	106.4	115.4	113.9	108.6	116.0	110.0	104.8	110.9	110.2	114.5
29	108.4	112.0	113.1	116.3	113.1	121.9	113.5	120.0	122.7	114.4	113.7	120.6
30	118.1	115.1	112.3	113.8	115.0	115.0	114.2	112.6	108.2	111.6	116.4	112.8
1	110.5	116.8	114.7	110.9	112.8	113.4	108.4	109.1	110.9	103.1	103.2	109.4
2	109.3	106.6	102.8	94.5	94.2	94.6	98.5	98.9	101.6	101.7	97.7	99.6
3	98.9	108.1	106.8	107.4	109.5	112.2	113.8	105.3	101.1	104.1	107.2	114.2
4	117.8	109.2	114.2	115.8	107.0	118.8	116.2	113.6	118.7	116.0	115.0	117.8
5	114.6	114.3	111.5	117.3	118.2	124.3	121.3	122.9	118.4	120.7	120.4	110.9
6	108.4	108.8	112.2	120.3	122.0	115.1	125.2	122.8	120.0			

・一致指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
27	146.5	144.9	143.5	145.5	144.6	141.6	143.3	143.7	143.5	137.7	136.2	134.4
28	133.9	132.3	124.0	128.0	123.7	128.1	129.5	124.7	128.4	134.4	138.1	139.8
29	136.4	136.3	137.5	135.9	137.3	135.8	129.5	131.2	129.5	126.5	129.0	132.9
30	127.5	126.0	122.9	120.4	120.5	114.9	114.3	114.7	114.8	112.5	108.9	106.2
1	106.7	109.1	111.2	113.4	110.2	109.1	105.2	109.0	108.8	102.4	109.4	109.0
2	108.8	108.7	105.0	98.8	96.1	96.8	100.6	93.9	95.1	99.3	98.9	97.9
3	97.5	100.8	102.0	100.4	99.0	104.0	111.3	106.4	110.2	117.0	120.7	121.7
4	117.8	111.5	116.7	125.8	129.0	133.1	133.5	135.7	137.5	138.2	135.8	135.6
5	136.5	136.1	134.3	127.1	125.5	123.4	125.8	126.9	126.9	129.1	129.3	134.8
6	135.3	137.5	140.4	146.2	140.8	145.5	145.3	145.3	142.9			

・遅行指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
27	150.3	149.9	158.0	153.6	152.5	147.2	150.2	146.7	147.6	147.1	141.6	140.8
28	139.5	145.2	139.1	137.6	134.5	132.2	131.7	133.6	130.5	133.3	129.2	127.6
29	131.6	122.4	128.2	123.9	118.3	117.4	116.5	113.3	118.4	114.9	117.8	121.1
30	114.6	114.9	120.9	117.7	125.1	120.8	117.3	117.6	121.9	117.7	114.7	111.6
1	112.6	110.4	109.2	104.9	102.6	105.9	104.2	107.0	100.8	102.1	101.2	97.4
2	101.3	100.0	99.4	96.6	96.7	93.3	98.5	99.6	102.1	103.4	102.8	106.1
3	98.5	101.3	100.1	99.2	105.8	102.6	109.5	105.3	106.2	110.9	115.6	113.6
4	121.5	117.8	113.3	114.7	121.1	118.6	124.8	129.5	128.4	132.7	133.2	127.9
5	133.0	130.6	135.8	131.3	131.1	132.4	132.5	131.6	136.1	131.6	128.1	134.6
6	132.0	138.2	141.6	148.6	136.1	134.3	135.0	134.3	130.7			

(2) DI (デフュージョン・インデックス)

① 概要

【先行指数】 9月は、57.1%と3ヵ月振りに50%を上回った。

【一致指数】 9月は、44.4%と2ヵ月振りに50%を下回った。

【遅行指数】 9月は、50.0%と保ち合いとなった。

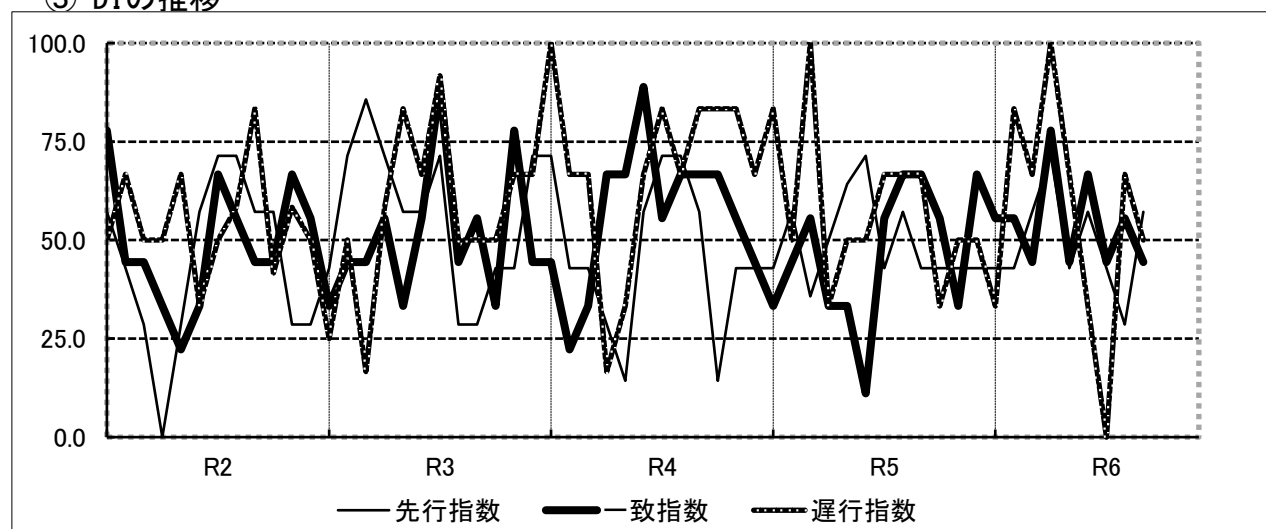
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (ー景気動向指数利用の手引きー参照)

② DIの推移

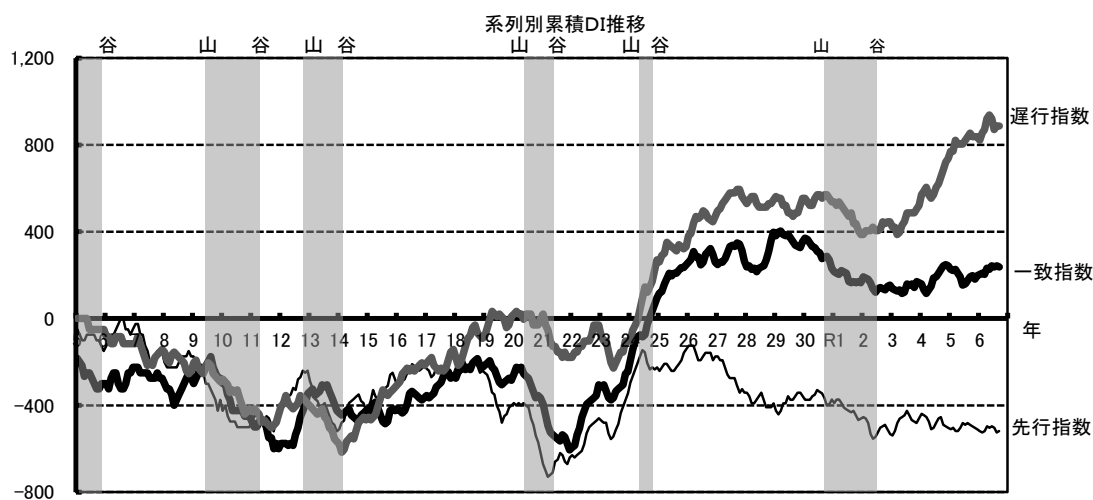
区 分	令和5年			令和6年								
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
先 行 指 数 (D . I)	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9	57.1	71.4	42.9	57.1	42.9	28.6	57.1
一 致 指 数 (D . I)	55.6	33.3	66.7	55.6	55.6	44.4	77.8	44.4	66.7	44.4	55.6	44.4
遅 行 指 数 (D . I)	33.3	50.0	50.0	33.3	83.3	66.7	100.0	66.7	33.3	0.0	66.7	50.0

注)DIは、先行(7指標)、一致(9指標)、遅行(6指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

累積DI(t)=累積DI(t-1)+(DI(t)-50)

注2) DI及び累積DIは景気の方角性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) グラフでは各指数の動きを見やすくするため、一致指数に-200を加算してある。

注4) 影の部分は国における景気後退期を示す。

-景気動向指数利用の手引き-

(1) 景気動向指数の概要

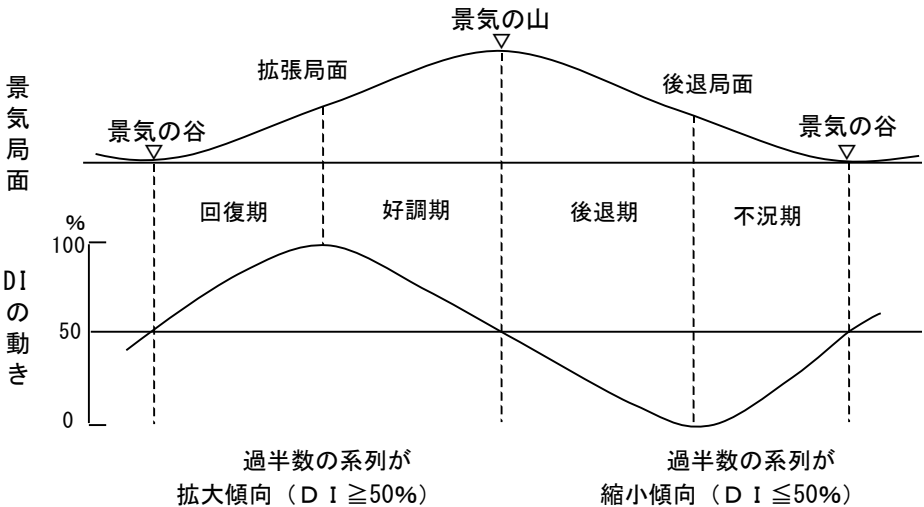
- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンボジット・インデックス）と、景気の方方向性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。
- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

(2) C I（コンボジット・インデックス Composite Index）の概要

- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等9つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している。
（詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.htmlを参照）。
- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

(3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では9つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば $3 \div 9 \div 0.333$ （DI=33.3%）と計算する。
- 一般に、50%を上回っているときが景気の拡張局面、50%を下回っているときが後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



(4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S26. 6.	S26. 10.	第9循環	S52. 10.	S55. 2.	S58. 2.
第2循環	S26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 10.	R2. 5.

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項 目			内 容	原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合ー減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(または景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
	6 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワーク平
	7 いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業チャレンジ課
一致系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第Ⅰ四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業チャレンジ課
	3 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業チャレンジ課
	4 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	5 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	6 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	7 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	8 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワーク平
	9 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
遅行系列	1 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	2 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	3 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	4 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	5 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	6 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワーク平

注) 季: X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前: 原数値の前年同月比、原: (四半期) 原数値、移: 12ヵ月移動平均

逆: 景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

【参考】 国・県の動き

1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	(我が国経済の基調判断) 景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。 ・個人消費は、一部に足踏みが残るものの、持ち直しの動きがみられる。 ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。 ・生産は、このところ横ばいとなっている。 ・企業収益は、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、改善している。 ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。 ・消費者物価は、このところ上昇している。 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 (内閣府「月例経済報告」令和6年11月公表分)
(2) 県の動向	県内の景気は、足踏み状態となっている。 ・個人消費……一部に弱い動きがみられる。 ・建設需要……一部に持ち直しの動きがみられる。 ・生産活動……一進一退の状況が続いている。 ・雇用・労働……一部に弱い動きがみられる。 ・物 価……企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。 ・企業・金融……企業倒産件数、負債総額はともに前年を上回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。 (福島県「最近の県経済動向」令和6年11月公表分)

2 景気動向指数(CI)

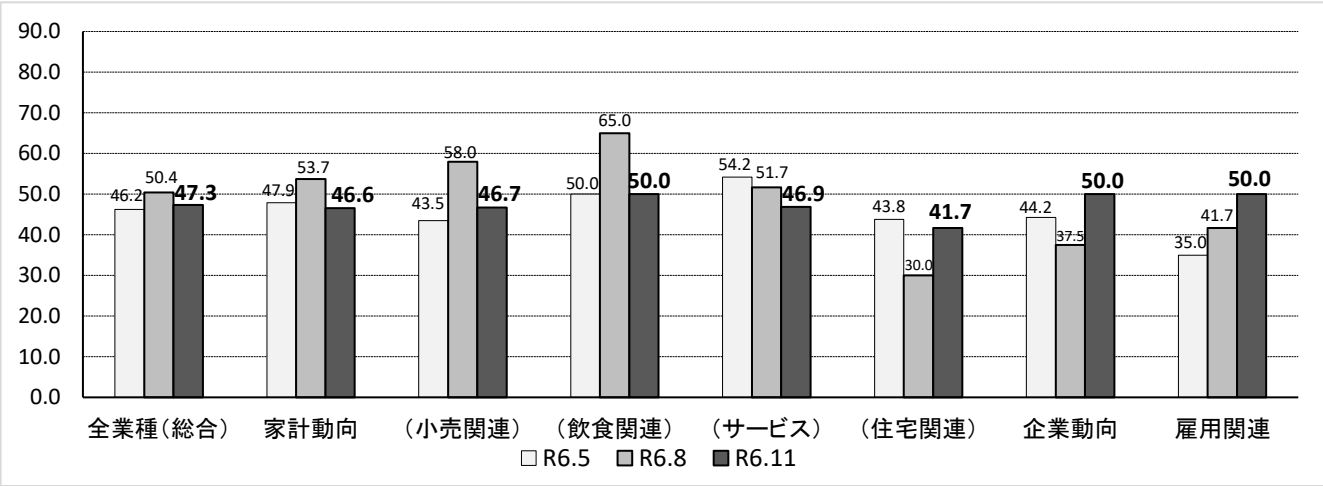
(1) 国の動向	9月のCI(速報値・令和2(2020)年=100)は、先行指数:109.4、一致指数:115.7、遅行指数:106.4となった。 先行指数は、前月と比較して2.5ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.10ポイント上昇し、5ヵ月ぶりの上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.34ポイント下降し、3ヵ月連続の下降となった。一致指数は、前月と比較して1.7ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.53ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.47ポイント上昇し、3ヵ月連続の上昇となった。遅行指数は、前月と比較して1.5ポイント下降し、3ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は0.20ポイント下降し、2ヵ月連続の下降となった。7ヵ月後方移動平均は横ばいとなった。 (内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和6年11月公表分)
(2) 県の動向	1 概 括 9月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、R2年=100)は、先行指数120.9ポイント、一致指数106.1ポイント、遅行指数112.5ポイントとなった。 先行指数は、前月(120.1ポイント)を0.8ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。 一致指数は、前月(111.2ポイント)を5.1ポイント下回り、3ヵ月連続の下降となった。 遅行指数は、前月(115.5ポイント)を3.0ポイント下回り、2ヵ月振りの下降となった。 2 一致指数の動向 寄与度がプラスの系列 建築着工床面積(鉱工業)、有効求人倍率、生産財出荷指数 寄与度がマイナスの系列 最終需要財出荷指数、鉱工業生産指数、雇用保険受給者実人員、所定外労働時間指数(全産業)、百貨店・スーパー販売額(既存店) (福島県「福島県景気動向指数」令和6年12月公表分)

Ⅱ いわき市景気ウォッチャー調査：令和6年11月時点

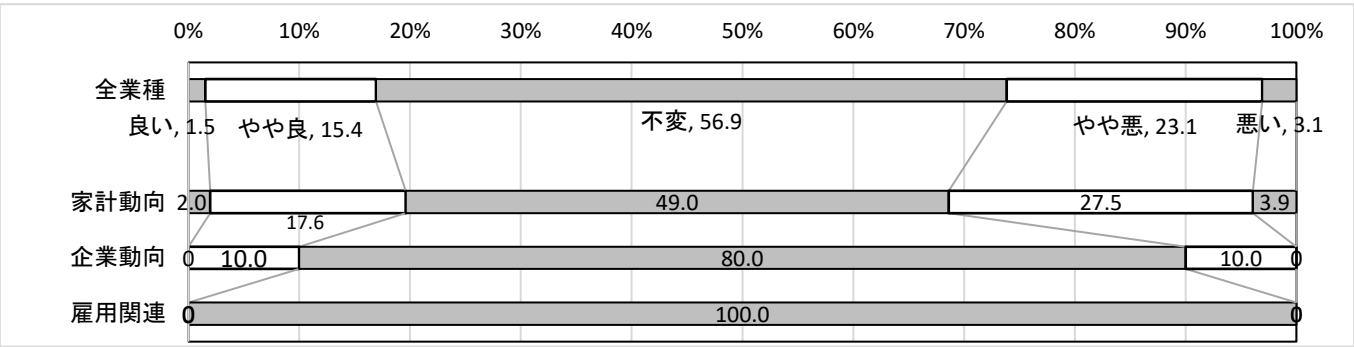
1 景気の現状について

(1) 現状判断DI

- 全業種（総合）の現状判断DIは47.3と、前回より3.1ポイント低下した。内訳では、企業動向、雇用関連が上昇し、家計動向が低下した。
- 主要業種別では、家計動向が46.6と前回より7.2ポイント低下した。家計の内訳では、住宅関連が上昇し、小売、飲食関連、サービスが低下した。企業動向は50.0と12.5ポイント上昇し、雇用関連も50.0と8.3ポイント上昇した。
- ※ 数字の表記について、原則、表示単位未満で四捨五入しているため必ずしも一致しません。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、3ヵ月前と比べて「良くなっている」は1.5%であり、「やや良くなっている」が15.4%、「変わらない」が56.9%、「やや悪くなっている」が23.1%、「悪くなっている」が3.1%となった。



(2) 現状判断の理由

現状判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「取引先の様子」、雇用関連では「求人数の動き」「求職者数の動き」などが挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	7	10	6	23	1. 受注量や販売量	1	2	0	3	1. 求人数の動き	0	1	0	1
2. 販売量の動き	2	8	6	16	2. 受注価格や販売価格	0	2	0	2	2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 単価の動き	0	0	2	2	3. 取引先の様子	0	4	1	5	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	1	5	2	8	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	0	1	0	1
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0	5. その他	0	1	0	1
6. その他	0	2	0	2										
合計	10	25	16	51	合計	1	8	1	10	合計	0	4	0	4

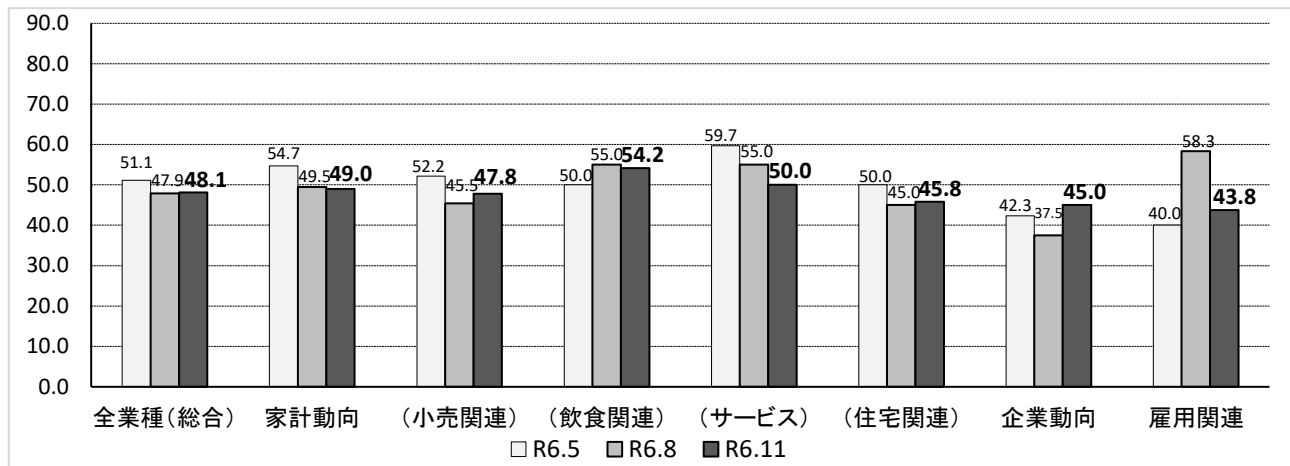
2 景気の先行きについて

(1) 先行き判断DI

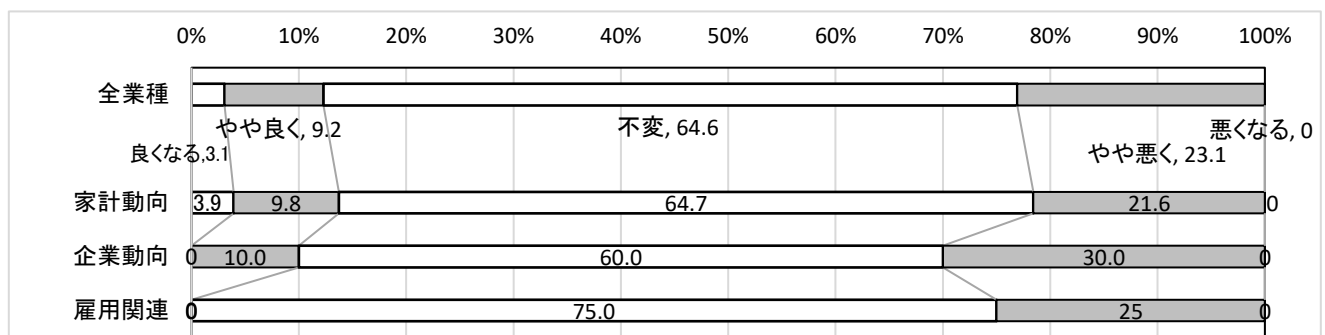
○ 全業種（総合）の先行き判断DIは48.1と、前回より0.2ポイント上昇した。内訳では、企業動向が上昇し、家計動向、雇用関連が低下した。

○ 主要業種別では、家計動向が49.0と前回より0.4ポイント低下した。家計の内訳では、小売、住宅関連が上昇し、飲食関連、サービスが低下した。企業動向は45.0と7.5ポイント上昇し、雇用関連は43.8と14.6ポイント低下した。

※ 数字の表記について、原則、表示単位未満で四捨五入しているため必ずしも一致しません。



○ 全業種（総合）の回答内容をみると、2～3ヵ月先には「良くなる」は3.1%であり、「やや良くなる」が9.2%、「変わらない」が64.6%、「やや悪くなっている」が23.1%、「悪くなっている」が0%となった。



(2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「受注量や販売量」、雇用関連では「求人数の動き」「求職者数の動き」などが挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	6	15	2	23	1. 受注量や販売量	1	2	1	4	1. 求人数の動き	0	1	0	1
2. 販売量の動き	1	9	2	12	2. 受注価格や販売価格	0	1	0	1	2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 単価の動き	0	0	3	3	3. 取引先の様子	0	3	0	3	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	0	5	3	8	4. 競争相手の様子	0	0	1	1	4. 周辺企業の動き	0	0	1	1
5. 競争相手の様子	0	2	0	2	5. その他	0	0	1	1	5. その他	0	1	0	1
6. その他	0	2	0	2										
合 計	7	33	10	50	合 計	1	6	3	10	合 計	0	3	1	4

3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。
記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

(消費動向・観光需要)

- 今年は猛暑や、数年続くコロナ禍、駅前商店街の減少（閉店などによる）による商店街への集客が難しくなっている。
- 少しずつ回復しているが、やはり流れは変わってきている。
- 全体を論じづらい。消費者・企業・家庭と分けて考える必要が益々強くなってる。消費者はマイナス傾向、企業は当面まずまず、家庭はきびしい方向に向かっている。
- いわき市の観光需要が増加してくると、来客数も伸びると予想される。ビジネス利用だけでは、宿泊業の景気は変化がない状況である。

(物価高の影響)

- 物価の上昇率が高すぎる。
- 物価高騰により値上げをしたいが、ローカルではすぐできず厳しい。
- 物価上昇などで、消費者の節約志向が高まることも予想されるが、いわき駅の再開発での居住人をプラス要因として捉え、地元商店街が一体となり消費の底上げになる施策を今後期待したい。

(地域経済・産業動向)

- 四半期ごとに見ると大きな差は見られないが、人口流出により徐々に地域経済は悪化している。人の流動性を高める施策を打たないと、いずれいわき市は立ち行かなくなる。過疎地域の住民を市街地への移住を進めるなど、経済効率化も図る必要があると思う。
- 経営相談（よろず支援拠点）に来訪する事業者様や金融機関からの情報で、経営改善計画策定支援事業を希望するという話が以前より多くなっている。実際に当該事業を活用した事業者がアクションプランを実行できずに、納税もできていない現実があり、また、補助金・助成金が採択となっても、資金調達ができず断念する事業者も存在する。この傾向は今後ますます増加するのではないかと考えている。
- 相変わらず人手不足が続いている。
- 住宅建築希望の来客や問い合わせが増えている。
- 政治不安定等、中小企業、設備投資欲求が低下か。
- 二種免許の助成金は助かった。

－ いわき市景気ウォッチャー調査の概要 －

(1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

(2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連72人、企業動向関連22人、雇用関連8人の合計102人を調査客体とする。
今回（令和6年11月）の調査の回答数は65人（有効回答率63.7%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	72人	71%	51人	
小売関連	31人	30%	23人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	8人	8%	6人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	24人	24%	16人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	9%	6人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	22人	22%	10人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	8%	4人	人材派遣、職業紹介等
合 計	102人	100%	65人	

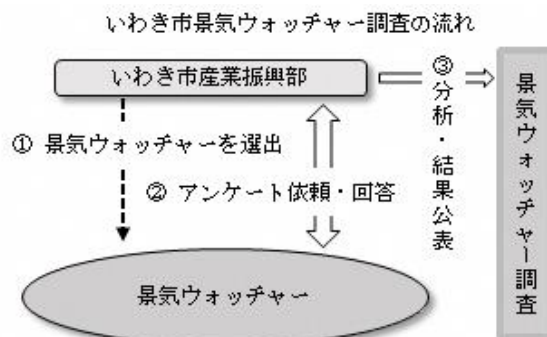
(3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

(4) 調査方法

いわき市産業チャレンジ課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業チャレンジ課と外部調査機関（株式会社システムプランニング）が協力して行う。調査結果は、産業チャレンジ課が原則として調査の翌月に公表する。



(5) DIの算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることによりDIを算出する。

DIは50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3カ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断 (3カ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0

(6) 景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

いわき市景気ウォッチャー調査票（令和 年度第 回）	
令和 年 月 日	
ご回答者	
ご所属・お名前 _____ 様	
あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。	
該当項目を1つだけ選択し、番号に○をしてください。例：① 良くなっている。	
【質問1】 今月の景気は3ヵ月前と比べて、良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 変わらない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
【質問2】 質問1のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【質問3】 あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、2～3ヵ月先は、今月より良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなる 2 やや良くなる 3 変わらない 4 やや悪くなる 5 悪くなる
【質問4】 質問3のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【自由回答（市内景気動向に関して）】 	

※質問2、4について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。

企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係

- 1 受注量や販売量の動き
- 2 受注価格や販売価格の動き
- 3 取引先の様子
- 4 競争相手の様子
- 5 それ以外

雇用関係

- 1 求人数の動き
- 2 求職者数の動き
- 3 採用者の動き
- 4 周辺企業の動き
- 5 それ以外

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業チャレンジ課
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 7 4 7 6 (直通)
e-mail : sangyochallenge@city.iwaki.lg.jp
